



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 岡田高志
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 052-732-5200

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,345	5.3	89	37.4	89	15.7	40	69.3
2020年3月期第3四半期	2,476	0.6	65	5.0	77	8.2	130	276.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 59百万円 (39.6%) 2020年3月期第3四半期 99百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	10.59	
2020年3月期第3四半期	31.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,854	5,152	88.0
2020年3月期	6,102	5,353	87.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,152百万円 2020年3月期 5,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		40.00	40.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,183	5.2	237	8.5	238	2.8	194	3.5	50.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	4,536,000 株	2020年3月期	4,536,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	859,612 株	2020年3月期	719,612 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	3,791,443 株	2020年3月期3Q	4,127,562 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに伴う、休業要請、外出自粛要請等もあり、企業の景況感の悪化、個人支出の減少等、経済活動に急激な縮小が見られました。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、休校せざるを得ない時期もあり、将来の見通しについては極めて不透明な状況が続いております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底することにより、顧客の信頼・信用を得て、サービスを継続することに尽力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高23億45百万円(前年同期比1億30百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益89百万円(前年同期比24百万円増)、経常利益89百万円(前年同期比12百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円(前年同期比90百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシスを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は6,119名(前年同期比6.0%減)となり、売上高は16億61百万円(前年同期比1億36百万円減)となり、セグメント利益は1億20百万円(前年同期比26百万円減)となりました。

(スポーツ事業)

当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は5,728名(前年同期比26.3%減)となり、売上高は3億30百万円(前年同期比1億14百万円減)、セグメント利益は15百万円(前年同期はセグメント損失44百万円)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億51百万円(前年同期比9百万円減)、セグメント損失は23百万円(前年同期はセグメント損失37百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億2百万円(前年同期比1億28百万円増)、セグメント損失は23百万円(前年同期はセグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は39億19百万円(前連結会計年度末比4億58百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が4億74百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は19億34百万円(前連結会計年度末比2億10百万円増)となりました。

これは主に、投資その他の資産が2億35百万円増加したことと、有形固定資産が12百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は5億50百万円(前連結会計年度末比64百万円減)となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が12百万円減少したこと、短期借入金が30百万円減少したこと、未払法人税等が60百万円減少したこと、及びその他が40百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億51百万円(前連結会計年度末比16百万円増)となりました。

これは主に、その他(預かり保証金)が13百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は51億52百万円（前連結会計年度末比2億円減）となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が1億13百万円減少したことと、自己株式が1億4百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年5月11日付で公表いたしました業績予想から修正はありません。なお、特別損益等、業績に影響を与える事象が発生した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,076,521	3,602,277
受取手形及び売掛金	16,457	9,487
商品及び製品	183,360	130,929
原材料及び貯蔵品	10,151	8,142
その他	91,726	168,459
流動資産合計	4,378,217	3,919,296
固定資産		
有形固定資産	338,187	325,433
無形固定資産		
のれん	43,676	32,757
その他	24,399	22,512
無形固定資産合計	68,076	55,270
投資その他の資産		
投資有価証券	818,658	1,034,390
その他	499,684	519,799
投資その他の資産合計	1,318,343	1,554,190
固定資産合計	1,724,606	1,934,894
資産合計	6,102,824	5,854,190
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,082	22,237
短期借入金	200,000	170,000
未払法人税等	67,729	7,007
賞与引当金	43,164	42,372
その他	268,387	308,494
流動負債合計	614,363	550,111
固定負債		
退職給付に係る負債	102,108	100,813
資産除去債務	18,292	17,558
その他	14,868	33,005
固定負債合計	135,268	151,377
負債合計	749,632	701,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,768,858	5,655,218
自己株式	△631,962	△736,402
株主資本合計	5,379,295	5,161,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,743	△24,274
為替換算調整勘定	17,277	15,760
その他の包括利益累計額合計	△29,465	△8,514
非支配株主持分	3,362	—
純資産合計	5,353,192	5,152,701
負債純資産合計	6,102,824	5,854,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,476,020	2,345,127
売上原価	1,708,461	1,677,599
売上総利益	767,558	667,528
販売費及び一般管理費	702,356	577,956
営業利益	65,201	89,572
営業外収益		
受取利息	1,052	1,051
受取配当金	4,447	5,881
受取賃貸料	1,380	1,430
補助金収入	—	2,000
保険解約返戻金	10,148	—
その他	2,004	1,389
営業外収益合計	19,032	11,752
営業外費用		
支払利息	2,737	1,823
持分法による投資損失	1,603	2,321
投資有価証券評価損	2,419	8,035
その他	451	34
営業外費用合計	7,211	12,214
経常利益	77,022	89,110
特別利益		
受取保険金	136,109	—
固定資産売却益	977	—
投資有価証券売却益	—	14,256
特別利益合計	137,087	14,256
特別損失		
役員弔慰金	3,505	—
役員退職慰労金	—	30,000
固定資産除却損	2,214	11,581
特別損失合計	5,719	41,581
税金等調整前四半期純利益	208,390	61,785
法人税等	78,528	22,816
四半期純利益	129,861	38,969
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,081	△1,182
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,943	40,152

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	129,861	38,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,755	22,468
為替換算調整勘定	△909	△1,516
その他の包括利益合計	△30,664	20,951
四半期包括利益	99,197	59,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,279	61,103
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,081	△1,182

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,798,245	444,780	160,658	2,403,685	72,334	2,476,020	—	2,476,020
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	1,976	1,976	△1,976	—
計	1,798,245	444,780	160,658	2,403,685	74,311	2,477,996	△1,976	2,476,020
セグメント利益又 は損失(△)	147,565	△44,521	△37,366	65,677	△475	65,201	—	65,201

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,661,513	330,292	151,344	2,143,150	201,977	2,345,127	—	2,345,127
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	969	969	△969	—
計	1,661,513	330,292	151,344	2,143,150	202,946	2,346,097	△969	2,345,127
セグメント利益又 は損失(△)	120,885	15,414	△23,159	113,140	△23,568	89,572	—	89,572

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間
(自2020年4月1日至2020年12月31日)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言(2020年4月)や活動自粛要請などが経済や企業活動に影響を与える中、当社グループにおいても生徒募集及び授業の実施等の一部の営業活動に影響を与えております。さらに、緊急事態宣言が2021年1月に再発出されたことにより、引き続き当社グループの一部の営業活動に影響を与えることが予測されますが、2021年3月期については、2020年5月以降感染予防に最大限度留意したうえで生徒募集や授業を再開しており、年度末に向けて影響が徐々に縮小していくと仮定しております。

当連結会計年度における会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の判定)はこの仮定を加味した予測数値を基礎としております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその経済環境への影響は不確実性が高く、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。